

# 平成23年度から、毎年、6月の第2日曜日を「小城市教育の日」として、11月を「小城市文化と教育に親しむ月間」とします。

6月第2日曜日の「小城市教育の日」は、小城市の宝である子どもたちが、小城市の豊かな自然の中で、真に学ぶ力と優しくたくましく生きる力を育むために、市民や教育の関係機関が教育に対する思いを共有・理解するとともに、学校、幼稚園、保育園及び家庭が連携した事業を実践して、子どもたちの教育を考える契機とします。

- 学校・幼稚園・保育園は、保護者や地域の人が自由に参観できる「フリー参観デー」や「教育講演会」、「親子ふれあいの行事」などを開催します。
- 家庭・地域は、基本的な生活習慣の定着のための、「早寝、早起き、朝ごはん運動」を実践します。  
基本的な学力の定着や向上を目指して、「身につけよう毎日机に向うくせ」をつけさせます。  
ノーゲーム、ノーテレビデー、読書（親子読書）を実践します。

11月の「小城市文化と教育に親しむ月間」は、11月3日の文化の日を中心に、広く市民に対して、文化（伝統文化を含む）に親しみ、教育への理解を深めていただくために、期間中は文化・教育に関する行事を集中的に開催し、小城市の文化・教育の充実と振興を図ります。

- 教育委員会や文化連盟などの団体は、市民文化展や文化公演会、体験学習など、市民が文化・芸術に親しみ、文化を創造する事業を実施します。
- 学校・幼稚園・保育園は、保護者や地域の人が自由に参観できる「フリー参観デー」や「教育講演会」、「親子ふれあいの行事」などを開催します。また、中学校での文化祭（文化発表会）の開催や小城市学力向上研究会の研究授業公開、各種指定校における研究発表会などを開催します。
- 市民、地域は、より豊かで充実した自己実現・地域課題の解決を目指し、自発的な生涯学習活動や、年齢や体力に応じたスポーツ活動、健康づくりなどの生涯スポーツ活動及び青少年の健全育成活動に取り組みます。

小城市教育委員会が目指すもの

— 城創伝心 —

小城市の歴史と伝統を受け継ぎ、文化を創造する豊かな心を育み、後世へ伝える。